

発行所こだいらの未来を考える会

代表 岩本 誠 〒187-0042

小平市仲町210-2-203

小平市議会議員

https://kodairaiwamoto.com

kodairaiwamoto@gmail.com

080-1269-2770



こだいら未来新聞

2026年(令和八年)
号外春夏号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

自主財源確保の強化と仕組みづくり

小平市でも新たな財源確保策やシティブロモーションの強化が必要と考え、全国の先行事例(企業版ふるさと納税、ネーミングライツ、公共施設の空き活用、遊休地活用など)を踏まえ、市の考え方、推進方針を質問した(令和8年度3月期定例会)

■企業版ふるさと納税の導入を提案

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは、寄付額の最大約9割が税額控除され、実質負担が約1割となる仕組み。本社所在地以外の自治体に寄付できる制度で、返礼品は受け取れないというものである。近隣では東村山市、清瀬市、八王子市などで導入実績があり、小平市でも財源

■ネーミングライツ候補施設を提示

公共施設の名称に企業名等を冠する権利を売却し、維持管理費を確保する取り組み。これまで実績がないため新たに提案した。東部公園プール、萩山公園のアーバンスポーツ施設、中央エリア・中央グラウンド、鷹の台公園、小平駅南口駐輪場

■空きスペース活用で新情報

公共施設の空きスペース活用では、2点の進捗が明らかになった。
①ルネこだいら1階(旧ルネハローモー)長期間空室だったが、令和8年5月頃から新店舗として開業する予定である



②市庁舎前の旧郵貯ATMスペース
約5㎡の狭小スペースで後利用の検討が難



旧ルネハローモーの現状(3月)



市役所前旧ATM空きスペース

■旧ごみ集積所跡地の売却状況



旧ごみ集積所跡地 例

旧ごみ集積所跡地については、売却が進んでいない箇所が488か所あり、総額約1億5千万円相当となること

とが判明した。現在使用されていない集積所について4つのわからないこと①所有者がだれなのか②買い取れるのか③問い合わせ先はどこなのか④利用方法は?をいかに解消するか等提案し売却を進めるよう促した。簡単ではないが収益確保策として推進願う。

航しているという。活用可能な法人・団体の募集を呼びかけたい

高齢者向けスマートフォンサポートの強化

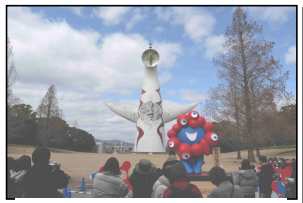
デジタル化が進む社会において、高齢者が取り残されないための支援体制を構築する必要がある。そこで市の現状と今後の取り組み方針について伺いました。東京都デジタル推進局・市町村・携帯会社三者連携の重要性が改めて明確になりました。
■8年度東京都の事業を活用した高齢者への支援の拡充について
初めてスマートフォンを購入する65歳以上の高齢者に対し、費用の一部(最大3万円)を補助する事業に關して小平市は8年度当初からは取り組まないとのこと。近隣都市(東村山市)で先行実施している施策であり、市を跨ぐ販売店での混乱も予想される。東京都に本事業の集約をお願いするか、小平市で販売店の対応をカバーするか。前者の方が進みやすいと思うが、引き続き注視していくこととする。

読み物紹介

「今日もスープを用意して 加藤千惠著」を紹介いたします。

自由奔放に生きてきた本条英美子は、母としては十分ではないように描かれている。その娘・望(のぞみ)は読書好きで英語好きな子で、母を反面教師にしながら成長していく。母親面談の日程アンケートをなかなか書いてくれない母をかばおうとする望のけなげさが、とても丁寧に描かれていた。
英美子を支えるスガノさんと貴之さん、望

今月の一枚



太陽の塔 万博記念公園

事務所案内図



至所沢 至西武新宿 西武新宿線 小平 南口 西友 小平駅前口 ルネこだいら (小平市民文化会館) ファミリーマート ルネ小平 岩本 誠 事務所 小平市仲町210-2 カネコビル7F(平日20時) ※ 建物南側の階段から2階へ

令和8年度予算のポイント

部名	要点1	要点2	要点3	要点4
企画政策部	シティプロモーション課の新設と外部専門人材の登用	「統括係長」制度の導入と課長補佐職の廃止による組織再編	LoGoフォームへの電子認証・オンライン決済機能の追加	中央エリア再整備（シビック・サイト）の推進と基金活用
総務部	人事評価・管理システムの導入による事務負担軽減	外部ハラスメント相談窓口（電話・ウェブ）の設置	防災対策の強化（携帯トイレ配布、災害用無線機配備など）	庁舎環境の整備（照明LED化、空調設備更新の設計実施）
市民部	証明書発行等のオンライン化キャッシュレス決済の推進	消費者生活相談の充実とSNS等を活用したタイムリーな周知	マイナンバーカードの西部出張所での交付事務委託化	「おくやみ窓口」の継続運営と相談体制の維持
地域振興部	小川駅西口複合施設「小川パレット」の開設準備と管理運営	スポーツ・文化施設の整備（中央公園グラウンド、プール再整備）	地域センターへのWi-Fi環境（5Gルーター）の拡充	多文化共生推進基本方針の策定と当事者参画の促進
健康福祉部	生活保護業務へのAI導入とケースワーカーの事務負担削減	中央エリア再整備（シビック・サイト）の新築工事着工	医療的ケア児等コーディネーターの配置と相談体制強化	小児インフルエンザ任意予防接種の費用助成（13歳未満）
環境部	ゼロカーボンシティの推進（LED化、省エネ機器設置助成等）	鷹の台公園の整備（Park-PFI）への着手	動物環境美化推進担当の新設と動物共生のまちづくり	公園トイレの快適化（特殊清掃）と防犯カメラの設置
都市開発部	交通安全対策の強化（高校での交通事故再現型教室の実施）	たかの台本通りの無電柱化（電線共同溝本体工事の推進）	地域公共交通の再構築（南西部地域での新たな交通手段の研究）	小川駅西口再開発（暫定歩行者デッキの整備工事）
教育部	学校給食費の無償化継続と食材費高騰への単価改定対応	教育ICT環境の高度化（ネットワーク広帯域化と端末更新）	専門職による支援体制の強化（言語聴覚士、作業療法士の巡回）	学校施設の計画的改修（トイレ洋式化、大規模改造工事等）

小平市は令和8年度一般会計当初予算案を「つなげる笑顔と未来を育む予算」として編成した。予算規模は過去最大となる95.1億円（前年度比5.3%増）である。各部の気にな

る取組項目を4点ピックアップし整理してみた。物価高騰や法人市民税の大幅減収といった厳しい財政状況の下、財政調整基金の繰り入れや市債の活用により、限られた財源を重点施策へ集中的に配分したものと見える。重要施策である「ひとづくり」では、国の制度開始に合わせ、「こども誰でも通園制」の拡充を図るほか、こどもを尊重する地域

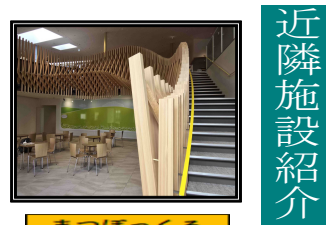
Lesson1
60歳からはじめるスマホと上手につき合う方法

- ・テーマ 東京ポイントを取得しよう 他
- ・日時 令和8年度3月開講しました
- ・会場 若本誠事務所（小平駅下車5分）
- ・講師 若本誠（シニア情報生活アドバイザー）
- ・参加費 500円 ※資料代として

参加ご希望のかた、連絡お待ちしております

づくりの指針となる「（仮称）こども条例」を新たに制定する。教育分野では、通信量の増大に対応するため、学習ネットワークの広帯域化を進める。「まっしょい」では、今秋に小川駅西口で複合施設「小川パレット」が開設される。駅西口地区の再開発と合わせ、都市基盤整備とにぎわい創出を一体的に推進する。環境面では、市立中学校における都市ガスのカーボンオフセット化を進め、脱炭素化の取り組みを加速させる。行政経営では「2040年DXビジョン」を掲げ、生活保護業務へのAI導入やオンライン決済の拡充などを図る。また、専門人材を活用した「戦略的広報」を強化し、市の魅力を効果的に発信する体制を整える。

担当課	現時点	7年度	8年度	9年度	供用開始	記事
小川駅西口再開発	地域整備支援課	工事中	工事 ▲9/30 指定管理事業者決定	▲8月以降供用開始		R7/9/30市議会にて議決 指定管理者はシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
小平駅北口開発	地域整備支援課	観測期間	観測期間	R8年度末社会情勢で判断	未定（R19年度事業完了）	R7年5月29日再開発準備組合総会
小平駅南口自転車駐車場	交通対策課 自転車対策	実施設計	実施設計	解体、建設工事（確認中）	R8年度末またはR9年4月頃供用開始	R7/7/13市民説明会資料 R8/3/5予算委員会
東部公園 萩山公園	文化スポーツ課	設計	▲6月提案締切 ▲12/17 事業契約締結		R11年度	R7/12/17本会議事業契約議決 ■東部公園25M室内プール11年4月以降 ■萩山公園 屋外スポーツ機能
南西部地域公園体育施設	■公園水と緑と公園課 ■体育館 ■文化スポーツ課 ■ふれあい下水道水道課	設計	中央グランド改修設計 中央公園有料駐車	鷹の台中央グランド改修工事	供用開始	R9年4月～ R7/2/1説明会 R8/3/13委員会
中央エリア	福祉政策課	設計、一部工事	R7～10年度工事	ひろは整備検討		R10年度以降新建物 R13年度 広場整備 R7/12/12全員協議会一広場別棟建設中止 R8/1/15委員会
第11小学校複合施設整備		設計	▲3月 基本設計終了	▲3月 実施設計終了	9～14年度工事の見通し	R7/12/12全員協議会一13小学校等複合施設整備延期 R8/3/11委員会



まっしょい

この2月にオープンした清瀬市の新施設「まっしょい」を見学してきました。自然を象徴する松ぼっくりをモチーフに柔らかな形が重なり合うデザインで、地域と自然が優しく寄り添う姿を表現しています。

この2月にオープンしているとのこと。施設はとてもコンパクトで1階は地域センター・児童館、2階は図書館という複合構成になっています。隈研吾さんのデザインで、室内階段には木材がふんだんに使われていました。

<編集者プロフィール>
市議会議員 若本誠
1963元旦兵庫県伊丹市生まれ
高校時代ラグーマン
故郷 大阪吹田市/滋賀県甲賀市
趣味 写真/映画鑑賞/熱帯魚飼育
資格 スマホアドバイザー

最近の活動から

一中卒業式 3月
九小60周年式典 2月
体験農園収穫 2月

都政、国政にもつなげます

東京都議会議員 竹井ようこ

前衆議院議員 末松義規